

広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー 推進協議会について

令和3年5月20日(木) 設立総会
広島県商工労働局海外ビジネス課

1. 設立の背景

【世界の潮流】



2050年カーボンニュートラル(CN)
10年間で官民120兆円のグリーンディール投資計画



2050年温室効果ガス(GHG)排出ネットゼロ
4年間で200兆円投資を公約



2060年CN

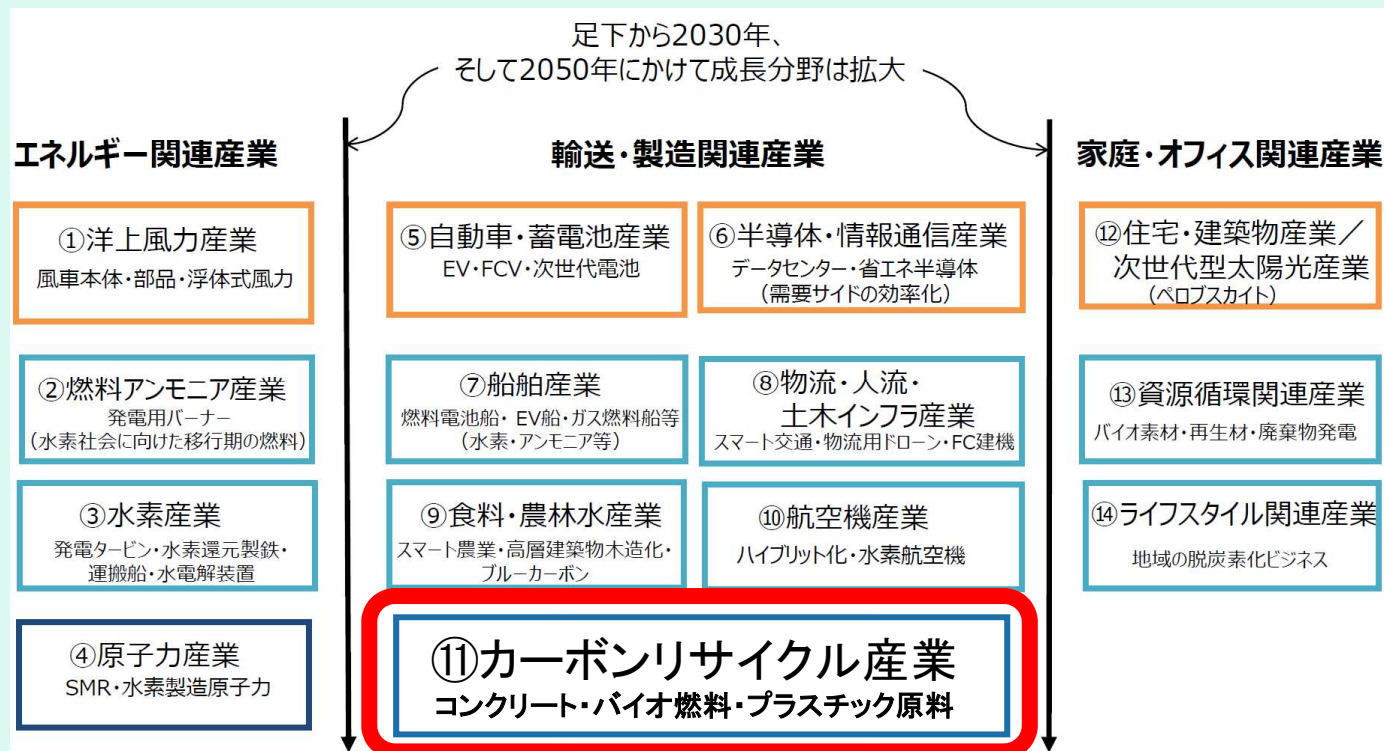


2050年CN (2030年にGHGを2013年度比46%削減)
グリーン成長戦略で10年間で2兆円の基金を創設

1. 設立の背景

【グリーン成長戦略】

＜成長が期待される産業14分野において、高い目標を設定＞



⇒CN実現に向けた有望な解決手段の一つが「カーボンリサイクル」

1. 設立の背景

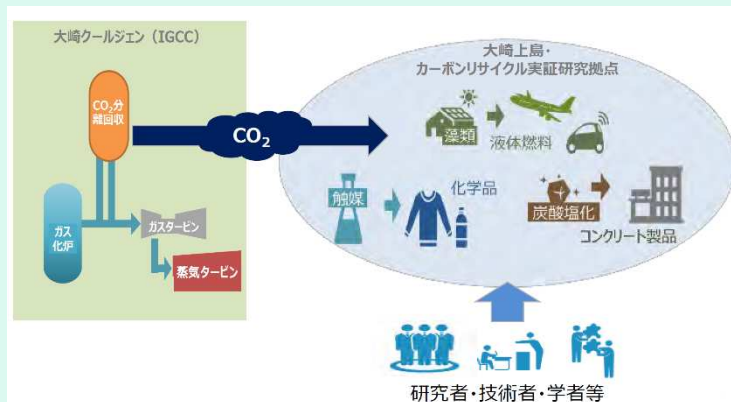
【主なカーボンリサイクル技術の現状と課題】

化学品	大規模化に向けた技術的課題あり
燃料	高コスト克服のための大規模化
鉱物	CO ₂ を吸収して造るコンクリートは実用化済だが、市場が限定的
分離回収設備	市場獲得に向けた分離回収技術の低コスト化が課題
大気中からのCO ₂ 直接回収	<ul style="list-style-type: none">・世界的にも要素技術開発段階 (国内でもラボレベルのものが多い)・エネルギー効率が低く、大気中からの回収コストが高い

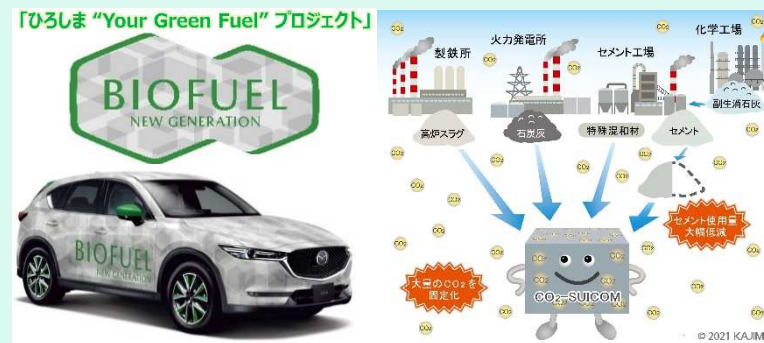
⇒カーボンリサイクル技術の開発・発展を促進させる場づくりが必要

2. 設立の目的

【本県のポテンシャル】



＜大崎上島の実証研究拠点化＞



資料: ひろ自連

資料: 鹿島建設

＜カーボンリサイクルの取組実績＞

【協議会の目的】

- ▶CO₂削減・カーボンリサイクルの先駆的な研究開発の拠点となる
- ▶カーボンリサイクル技術の社会実装への取組みを推進
- ▶地域振興さらにカーボン・サーキュラー・エコノミーを実現

目指す姿(イメージ)

カーボンサーキュラー
エコノミーの実現！



SDGsの推進

- ・エネルギー問題
- ・食料問題
- ・温暖化問題
- ・フェアな開発促進

地域経済の発展

- ・製造業
- ・エネルギー事業
- ・化学工業
- ・環境ビジネス
- ・・・etc

カーボンサーキュラーエコノミー：カーボンが生物や化学品、燃料等様々なかたちに変化しながら、自然界や産業活動の中で、持続的に循環する社会経済のこと。

3. 活動内容(規約第3条より)

- (1)カーボンリサイクルに関する研究開発や実証試験及びそれらを通じた地域振興を推進する将来構想の検討
- (2)カーボンリサイクルに関する技術や取組の普及啓発
- (3)国内外の情報収集・分析・発信
- (4)国内外の関係団体との情報連携
- (5)カーボンリサイクルに関する需要創出及び規制緩和等の政策提言
- (6)その他, 本協議会の目的を達成するために必要な事業